

エムドゲイン® 臨床ケースレポート

申 基喆 先生

明海大学歯学部口腔生物再生医工学講座 歯周病学分野

患者:女性、49歳、非喫煙者

部位:上顎左側第2小臼歯、第2大臼歯

患者概要

患者は49歳の女性。歯周治療と可及的な歯の保存を希望して来院した紹介患者である。来院時には左側上顎臼歯部の咬合痛を訴えていた。プラークコントロールは不良で、全顎的に高度の骨吸収が認められた。また、適合、咬合関係ともに不良な修復物が装着されていた。さらに、アンテリアガイドランスの喪失により、著しい臼歯部での咬合干渉が認められた(図1.2)。



図1:初診時正面観。進行した歯周炎を認める。

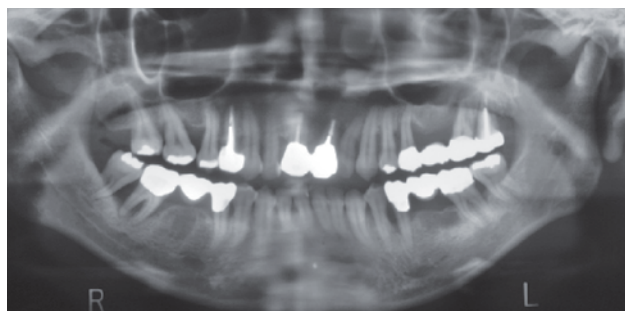


図2:初診時オルソパントモ。著明な骨吸収が認められた。

臨床所見

左側上顎臼歯部は、第2小臼歯および第2大臼歯を支台歯とした固定性ブリッジ、第3大臼歯には全部鑄造冠が装着されていた。第2小臼歯の歯周ポケット(最深部)は遠心口蓋側が10mm、第2大臼歯では近心部で12mmであった。ブリッジ撤去後の動揺は両歯ともに2度であった。咬合診査の結果、咬頭嵌合位での早期接触は認められなかったが、偏心運動時に同部の著しい咬合干渉が認められた。また、デンタルX線写真から、両歯ともに高度な垂直性骨吸収像が認められた(図3,4)。患者は非喫煙者で、歯周疾患に影響を及ぼす全身疾患はなかった。本症例は、プラークと外傷性咬合がリスク因子となった、重度・慢性歯周炎と診断した。



図3:上顎左側臼歯部の口蓋側面観。歯肉の炎症と歯肉退縮、および歯石沈着が認められる。

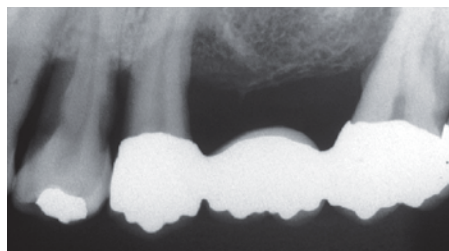


図4:同、デンタルX線写真。歯根1/2程度の水平性骨吸収と隣接部の著明な垂直性骨吸収像を呈する。

治療のポイント

いかなる治療法を用いようと、歯周治療の基本原則はプラークコントロールと外傷性咬合力のコントロールである。したがって本症例では、患者教育と並行して、歯周基本治療としてTBIとSRPからなるプラークコントロール、プロビジョナルレストレーションによる咬合関係の改善を行った。基本治療には約6か月間を要したが、歯周組織は外科治療に移行できる状態にまで改善した(図5,6)。特に再生療法を予定する場合には、炎症と力のコントロール、さらに患者の理解と、良くなりたいと思う強い意識がなければ、その治療は失敗に終わるか、治療効果が長続きしないと筆者は考えている。



図5,6:歯周基本治療後の状態。患者教育、プラークコントロール、および咬合関係の改善を3本柱としている。



外科処置と術後管理

歯肉溝内切開と全層フラップ剥離の後、通法に従い骨欠損内部の肉芽組織を除去、根面のSRPを行う。本症例では歯間乳頭歯肉を可及的に保存するため、simplified papilla preservation technique (Cortellini, 1999)を用いた。第3大臼歯は全周にわたる骨吸収を認めため抜去し、エムドゲイン®ゲル(0.7ml)塗布の後、骨欠損部に自家骨と人工材料(β -TCP)を移植し、創部を縫合した(図7-11)。術後8か月で遊離歯肉移植術を行い、口腔前庭の拡張と付着歯肉の増大を行い、現在まで第1小臼歯から第2大臼歯までの固定性ブリッジで口腔機能を回復させている。現在、予後8年目を迎えているが、歯周ポケット深さは2-4mmで推移しており、6か月に1度のメインテナンスを継続している(図12-15)。

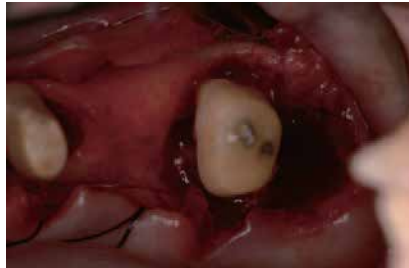


図7,8:歯周外科手術時の状態。第2小臼歯遠心部から口蓋部、第2大臼歯全周にわたる深い骨吸収を認める。



図9,10:エムドゲイン®ゲル塗布後に骨移植(自家骨、 β -TCP混合)を使用。



図11:術後1週の抜糸後のデンタルX線写真。移植骨材料により、骨欠損部が満たされている。



図12,13:外科処置後8年の状態。全顎にわたる歯周外科ならびに口腔機能回復治療による咬合関係の改善を同時に行っている。

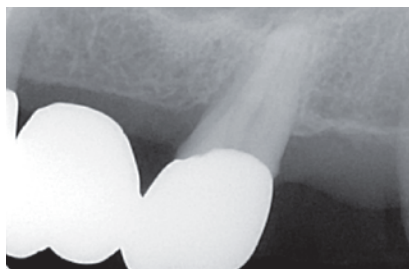
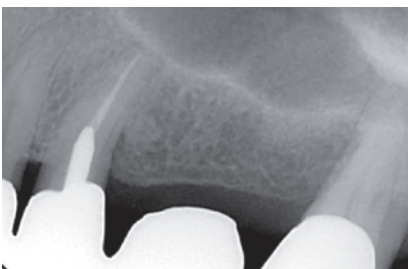


図14,15:同、デンタルX線写真。骨吸収部の改善が認められる。

術者コメント

歯周組織再生治療を効果的に行うためには、適切なフラップデザイン、正確な切開と縫合操作、確実な病変部のデブライドメントとルートプレーニング等の外科手技の精度を上げることが重要である。しかし、それら外科術式を生かすためにも、患者教育と歯周基本治療による炎症と外傷力のコントロールが必須であると考えます。

注：本書に記載されている内容には歯科医師個人の見解が含まれています。

販売名：エムドゲインゲル 分類：高度管理医療機器 一般的名称：プタ歯胚組織使用歯周組織再生材料 承認番号：21300BZG00049000

販売業者



器材部
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
TEL.03-3845-2931 FAX.03-3845-2978

選任製造販売業者

ストロマン・ジャパン株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7 三田ベルジュビル 6階

受注専用ダイヤル：0120-418-995 デジタルサポート：0120-418-320
製品サポート：0120-689-930 FAX(共通)：0120-418-089

TEL受付時間：平日9:00~17:30 (デジタルサポートは18:00まで)
当日出荷受付時間：平日17:00まで エムドゲイン当日出荷受付時間：平日14:00まで